

「動物用医療機器」

*2022年1月改訂(第2版)
2018年3月作成(第1版)
再使用禁止

*届出番号 : 2 動薬第 2459 号

機械器具 72 視力補正用レンズ
一般医療機器 視力補正用レンズ
シード動物用 CL P

【警告】

破損等の不具合があるレンズは絶対に使用しないこと
装用前に、レンズの破損等の不具合がないか必ず確認してください

【禁忌・禁止】

次の場合には使用しないこと
径 3mm を超えるデスメ膜瘤

融解性角膜炎
乾性角結膜炎(ドライアイ)

小眼球症

眼球瘻

ソフトコンタクトレンズにアレルギーがあるもの

使用方法

レンズは一度眼からはずしたら再使用せず、破棄すること
ヒトには使用しないこと

【形状・構造及び原理等】

1. レンズの組成

構成モノマー : 2-HEMA、四級アンモニウム基含有メタクリレート系化合物、カルボキシル基含有メタクリレート系化合物、MMA、EGDMA

着色剤 : フタロシアニン系着色剤(レンズカラー:ブルー)

紫外線吸収剤 : ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤

2. レンズの物性値

含水率 : 58%

酸素透過係数 : $30 \times 10^{-11}(\text{cm}^2/\text{sec}) \cdot (\text{mLO}_2/(\text{mL} \times \text{mmHg}))$

3. 保存液

主成分 : 塩化ナトリウム、非イオン界面活性剤、アルギン酸、ホウ酸系緩衝剤、EDTA

4. 原理

ソフトコンタクトレンズであり、装着することで角膜を覆い、保護をします。

5. レンズ規格

ベースカーブ(BC)	直径(DIA.)
8.40mm	16.0mm
8.60mm	14.5mm
8.90mm	16.0mm
9.30mm	16.0mm

【使用目的又は効果】

- ・異所性睫毛による角膜障害の緩和と角膜保護
- ・異物による角膜障害の緩和と角膜保護
- ・被毛接触による角膜障害の緩和と角膜保護
- ・眼瞼内反症による角膜障害の緩和と角膜保護
- ・角膜上皮障害による角膜障害の緩和
- ・角膜上皮剥離による角膜障害の緩和
- ・角膜潰瘍による角膜障害の緩和
- ・3mm以下のデスメ膜瘤による角膜障害の緩和
- ・角結膜疾患への外科療法あるいは内科療法施術後の角膜障害の緩和と角膜保護

【使用方法】

1. 処方手順

コンタクトレンズの装用において禁忌となる疾患がないか確認してください。

(1) 予備検査

前眼部検査等、獣医師が必要と判断した検査を行ってください。

(2) レンズの選定

患者にあった適切なレンズを選択してください。

(3) フィッティング検査

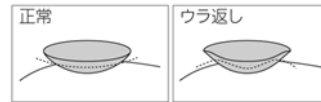
レンズが角膜全体を覆い動きがあるかを確認してください。

2. 獣医師によるレンズのつけ方・はずし方

- ・レンズを取扱う前に爪を短く切り、丸くなめらかにしてください。
- ・レンズを取扱う前に必ず手を石けんで洗浄してください。
- ・レンズを取扱うときは、爪を立てたり、指先で直接眼にふれないようにしてください。

(1) つけ方

- ①患者が動かないようにしっかり保定します。
- ②眼が涙液で十分潤っていることを確認してください。
- ③点眼麻酔の必要性を確認してください。角膜障害では眼に触れるだけで疼痛を伴うことが多いことから、点眼麻酔をしたほうがつけやすくなります。
- ④ケースからレンズを取り出し、レンズ内面を上にして指にのせます。この時、レンズの裏表を確認してください。歪みのない状態が正常です。眼が涙液で十分潤っていることを確認してください。



- ⑤まつ毛の生え際を押さながら眼を開けます。
- ⑥上眼瞼下に滑り込ませるようにして、レンズを眼にのせます。
- ⑦のせたレンズに動きがあるか確認します。
- ⑧眼の開閉を数回繰り返してください。空気が抜けにくい場合には、レンズの選択が不適切である可能性が考えられます。
- ⑨装着後、必要な場合はエリザベスカラーを着用してください。

(2) はずし方

- ①患者が動かないようにしっかり保定します。
- ②まつ毛の生え際を押さながら眼を開けます。
- ③レンズをつまんではずします。

(3) レンズが脱落する場合

レンズが脱落する場合には、以下のような状態が考えられます。

- ・レンズの選択が適切でない。
- ・レンズが瞬膜の下に入っていない。
- ・レンズが裏返しに入っている。
- ・涙液量が十分でない。
- ・エリザベスカラーをはずしている。
(エリザベスカラーを使用している場合)

【使用上の注意】

- ・家でレンズが脱落してしまった場合は、直ちに動物病院に来院するように指導してください。
- ・少しでも患者に異常が見られた場合は、直ちに動物病院に来院するように指導してください。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

直射日光及び凍結を避け、室温で保管してください。

2. 使用期限

レンズの使用期限は、レンズの外箱と容器本体に記載されています。使用期限までに使用を開始してください。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

株式会社シード

<製品に関するお問い合わせ>

レンズの品質には万全を期しておりますが、万一レンズや包装容器に異常を発見した場合は、使用せず製品をお手元にお取り置きいただき、弊社担当者、もしくは、下記の弊社「お客様相談室」にお問い合わせください。

